



サイセイの物語

# ライナーノーツ

L i n e r n o t e s

## 01. クロノウタ

歌で語る絵本のような『サイセイの物語』、  
その物語の核になるのが「ノロイモチ」という

「不死」による不思議な力を持った少女たちです。

少女は全員で7人いて、それぞれの少女にはイメージカラーをつけてます。

曲中に『各色をイメージさせる』フレーズが出てきますが、

これは彼女たちの最後の時についてを語っています。

「不死」の彼女たちですが深い絶望を抱いて死を願うと死ぬことができます。

ただし、不死の力と死ぬまでの記憶は別の少女に移ってしまいます。

少女たちの記憶を引き継いだ6人目の「黒の少女」。

彼女が最後に願ったのが「ノロイモチの記録」と「絶望に満ちた記憶」を

長い時を費やして消すことでした。

そんな少女たちの物語を少し想像してみながら聞いていただきたい一曲です。

最後のオルゴールのメロディーが「白い少女が生まれたこと」を

優しく伝えるように鳴り響きます。

## 02. トリシア・ブルームローズ

物語は「白い少女」のお話がメインになっていきます。

彼女については『prologue』でどんな人物かが書かれています。

トリシアの名前はローマ字で書くとTreeciaという綴りで、

木を司っている「宗教」みたいなものの教えを受け継ぐ民の子です。

実はこの宗教は過去のノロイモチのひとり「緑の少女」が始めたものだったり、

といったような裏設定があったりします。

「白い少女」はトリシアに今まで聞いたことのないいろいろな話をされます。

その中で、不器用ながらも自分の「感情」のようなものを表現するために歌を歌い始めます。

そして、非常に短命だったトリシアとの突然の別れが訪れます。

今まで心に留めた人がいなかった彼女が唯一

永遠の別れのあとも忘れられなかったその「微笑み」が、

彼女の歌と合わさって聞く人の心を安らかな気持ちにさせるようになります。

### 03. 旅路に咲く花

だれかに「歌」を聞いてほしいのか、  
聞いたあとの人々の優しい笑顔に在りし日の忘れられない友人を重ねているのか、  
なぜだかわからない感情で彼女は旅を始めます。  
そんな中で一人の少年に出会い恋をされます。

少年は青年へ、青年は老人となって彼女に恋い焦がれますが、思いはなかなか届きません。  
ちなみにこの「少年～老人」は古の魔術的なものを使って寿命をと一っても長くして生きてます。

これは、かつて「紫の少女」が研究していたものの副産物で、  
みたいなつながりが裏設定としてあります。

存在を忘れられた「ノロイモチ」ですが、  
時を越えてもなお残っているものがあったりします。

そういったものを拾い集めるのもこの旅の目的になっていたのかもしれませんが。

旅路には色々な「花」が咲いていました。

それは人々の笑顔だったり、あるいは一途な男の恋心だったりするのかもしれませんが、  
とかいって。

### 04. いきるチカラ

旅を続けていくうちに白い少女は色々なことを思い出してしまいます。

それはとても悲しくて痛くて辛いことなのですが、彼女は絶望しませんでした。

なぜなら彼女の望みはただ一つ、

不可思議な病におかされる少女たちやそれを取り囲む人々の苦しみを  
少しでも和らげるため歌うことだったからです。

この後、人間は滅びます。

この不可思議な病についても実は過去の「ノロイモチ」が関係しているのですが、  
それはまたお話できる機会がありましたら何かしらの形でお伝えしたいと思っております。

この曲に関しては皆様のご想像力に頼らせていただき、

次の曲の「解説のための解説」とさせていただきます。

話は変わるのですがRPGにおけるボスの強さランキング的に言うと、

メテオ系の技を使うボスって、とっても強い気がしません？

## 05.しろのうた

さて、物語はこの曲にてフィナーレを迎えます。

この歌自体は「おはようからおやすみまで」そして「自然や世界の素晴らしさ」を歌うような歌詞にしました。人間たちがまた世界に戻ってきたときに寂しくないように優しく出迎えるような歌になっていれどと思います。

メインテーマにふさわしい素晴らしいメロディーをdaiさんが仕上げてください、歌詞を情緒深く聞く人に元気を与えるまさに「白い少女」のようにnayutaさんが歌い上げて、myuさんのイラストが世界観をより明るく演出してくださいました。

とても素敵な曲になったと思いました。

もちろんこのアルバムの5曲どれをとってもスタッフの素晴らしいパフォーマンスあってこそだと、感謝の気持ちでいっぱいです。

ところで、つらつらとライナーノーツを書いている私といえば、「ひぐらしのなく頃に」や「うみねこのなく頃に」のdaiさんの曲に歌詞をつけてnayutaさんに歌ってもらおうという素敵な試みを今までやってきて、知ってくださっている皆様にはご挨拶が遅れまして申し訳ありません。

はじめまして。「ちだい」と申します(笑)

今回この素敵な企画にnayutaさんからお声がかかり、「死なない少女とその物語」というテーマを頂いて、作詞をしてみました。

正直、今までしてきた「もともとの作品があって」という形の作詞とは全く別世界で「5曲も作れるかなw」と不安でした(笑)

気負いすぎるあまり「物語を一から頭の中で作ってしまえば今までとほとんど一緒！」という近道なんだか遠回りなんだかよくわからない状態で、拙いながらお話を作ってみました

皆様に気に入っていただければ幸いです。

最後に、今回この物語を作るにあたって「白雪姫」のお話をブレインストーミング的なモチーフにしたこと告白いたします。

「白雪姫」「七人の小人」「魔女」「王子」「鏡」の5つを使ってお話を作り始めましたが、どれがどの曲だかわかりますかね？最終的に全く別のお話になってしまったのですが(笑)

それでは、引き続き「サイセイの物語」をお楽しみくださいませ！

それこそ『何度でも何度でも』。